

3号様式の1

排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
(宛先) 京都府知事		令和 7年 5月21日				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市南区吉祥院這登中町4 3 番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 新栄電器製作所 代表取締役 佐藤 吉成 電話 075 - 681 - 3456				
主たる業種	その他の電気機械器具製造業	細分類番号	2 9 9 9			
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 産業部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択 <input type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門					
計画期間	7年4月 ~ 10年3月					
基本方針	製造工程の効率化や省エネ機械の導入を行いCO2の削減を行う。					
計画を推進するための体制	代表取締役が中心となり全社員へも周知徹底を行う。進捗状況についても随時確認を行いながら計画を推進する。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (4~6)年度	第1年度 (7)年度	第2年度 (8)年度	第3年度 (9)年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	40.0 トン	35.8 トン	35.8 トン	35.8 トン	-10.5 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	37.3 トン	35.8 トン	35.8 トン	35.8 トン	-4.0 パーセント
	年度ごとの増減率(基準年度比)		-4.0 %	-4.0 %	-4.0 %	
目標の根拠	省エネ活動を全従業員へ周知徹底し、目標の達成を目指す。					
具体的な取組及び措置の内容	1年目	業務効率化や節電にてCO2の削減を行う。				
	2年目	業務効率化や節電にてCO2の削減を行う。				
	3年目	業務効率化や節電にてCO2の削減を行う。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	省資源・省エネルギー型の製品創出と廃棄物のリサイクル化に取り組む。					
特記事項						

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。